

令和7年度第1回 自動車整備技能登録試験 合格学習計画

Complete Study Guide & Schedule

📄 試験実施概要

受付期間： 令和7年7月28日(月)～8月1日(金)

学科試験日： 令和7年10月5日(日)

学科試験会場： TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

実技試験日： 令和8年1月18日(日)

実技試験会場： 東京都自動車整備教育会館(予定)

合格基準： 学科70%以上、実技70%以上

📖 目次 (Table of Contents)

第1章：試験制度の概要と受験資格	P.2
第2章：学科試験の出題範囲と内容	P.3
第3章：実技試験の出題範囲と内容	P.4
第4章：12週間学習スケジュール（学科対策）	P.5
第5章：週別詳細学習計画（第1-4週）	P.6
第6章：週別詳細学習計画（第5-8週）	P.7
第7章：週別詳細学習計画（第9-12週）	P.8
第8章：実技試験対策スケジュール	P.9
第9章：重要ポイント総まとめ	P.10
第10章：試験当日の注意事項とチェックリスト	P.11

作成日：2025年12月24日

Prepared for: Zain - Qualitex Trading LLC

第1章：試験制度の概要と受験資格

Understanding the Examination System and Eligibility

1.1 自動車整備技能登録試験とは

自動車整備技能登録試験は、国土交通省が定める自動車整備士の技能を証明する国家資格試験です。一般社団法人日本自動車整備振興会連合会（日整連）が実施しており、年2回（第1回：10月学科、第2回：3月学科）実施されます。

重要ポイント

令和7年度より、「自動車整備士技能検定規則」の一部改正により、2級・3級・特殊の自動車整備士資格を取得するための**実務経験期間が短縮**されました。

1.2 試験種目と級別

級別	種目	学科試験時間	問題数
3級	3級自動車ガソリン・エンジン	60分	30問
	3級自動車シャシ	60分	30問
	3級自動車ディーゼル・エンジン	60分	30問
2級	2級ガソリン自動車	80分	40問
	2級ディーゼル自動車	80分	40問
	2級二輪自動車	80分	40問

特殊	自動車車体整備士	80分	40問
----	----------	-----	-----

1.3 受験資格

3級自動車整備士の場合

- 実務経験：1年以上の実務経験（改正後）
- 養成施設卒業者：認定された養成施設を卒業した者は実務経験不要
- 職業訓練修了者：職業能力開発施設で自動車整備に関する訓練を修了した者

2級自動車整備士の場合

- 3級合格後：3級自動車整備士資格取得後、3年以上の実務経験
- 養成施設卒業者：2級養成施設を卒業した者は実務経験不要

⚠ 注意事項

実務経験の証明には「自動車整備作業実務経験証明書」が必要です。勤務先の事業場で証明を受ける必要があります。

1.4 試験の流れ

1. 受験申請（7月28日～8月1日）
2. 学科試験（10月5日）
3. 学科試験結果発表（10月21日）
4. 実技試験受験手数料納付（10月27日～10月31日）
5. 実技試験（1月18日）
6. 実技試験結果発表（2月頃予定）
7. 資格申請（全部免除申請）

 合格後の手続き

学科試験・実技試験の両方に合格した後、有効期間内に「全部免除申請」を行わないと整備士資格を取得できません。必ず期限内に申請してください。

第2章：学科試験の出題範囲と内容

Written Examination Scope and Content

2.1 学科試験の基本情報

項目	3級	2級
試験時間	60分	80分
問題数	30問	40問
出題形式	マークシート式（4択または5択）	
合格基準	70%以上の正答率（3級：21問以上、2級：28問以上）	

2.2 試験科目（3分野）

1 構造、機能及び取扱い法に関する一般知識

3級ガソリン・エンジンの場合：

- **総論**：自動車の概要、分類、性能、法規
- **エンジン本体**：4サイクルエンジンの構造と作動、シリンダ、ピストン、クランクシャフト
- **潤滑装置**：エンジンオイルの役割、オイルポンプ、オイルフィルタ
- **冷却装置**：水冷式・空冷式冷却装置、サーモスタット、ラジエータ
- **燃料装置**：ガソリンの性質、燃料タンク、燃料ポンプ、キャブレータ、インジェクション
- **吸排気装置**：エアクリーナ、マフラ、排気ガス浄化装置

- **点火装置**：点火時期、スパークプラグ、イグニッションコイル、ディストリビュータ

3級シャシの場合：

- **動力伝達装置**：クラッチ、トランスミッション、プロペラシャフト、ディファレンシャル
- **かじ取り装置**：ステアリング機構、パワーステアリング
- **制動装置**：ブレーキの種類と構造、油圧ブレーキ、ABS
- **走行装置**：サスペンション、タイヤ、ホイール
- **車枠及び車体**：フレーム、ボディの構造

2 点検、修理、調整及び完成検査の方法

- 日常点検の項目と方法
- 定期点検（12ヶ月点検、24ヶ月点検）の内容
- エンジン各部の点検・調整方法
- シャシ各部の点検・調整方法
- 故障診断の手順と方法
- 分解・組立の基本作業
- 完成検査の項目と基準

3 整備用の試験機、計量器及び工具の構造、機能及び取扱い法

- **測定工具**：ノギス、マイクロメータ、シックネスゲージ、ダイヤルゲージ
- **試験機器**：コンプレッションゲージ、バキュームゲージ、タイミングライト
- **整備工具**：スパナ、レンチ、ドライバー、プライヤ、ハンマー

- 専用工具：プーラ、トルクレンチ、油圧プレス
- 電気計測器：サーキットテスタ、バッテリーテスタ
- 工具の取扱い：正しい使用方法、保管方法、安全管理

出題傾向（過去12回の分析より）

- エンジン本体：約20-25%
- 燃料装置・点火装置：約15-20%
- 潤滑・冷却装置：約10-15%
- 点検・整備方法：約20-25%
- 工具・測定器：約10-15%
- その他（総論、法規等）：約10-15%

第3章：実技試験の出題範囲と内容

Practical Examination Scope and Content

3.1 実技試験の基本情報

項目	内容
試験日	令和8年1月18日(日)
試験時間	30分
問題数	3問
試験会場	東京都自動車整備教育会館（予定）
合格基準	70%以上の得点
合格率	3級ガソリン：約61%、3級シャシ：約62%

重要

実技試験は学科試験に合格した者のみが受験できます。学科試験合格後、10月27日～10月31日の期間に実技試験受験手数料を納付する必要があります。

3.2 実技試験の4つの分野

分野1：基本工作

- ねじの種類と規格の判別
- ボルト・ナットの締付けトルク管理

- 配線の接続と絶縁処理
- パイプの曲げ加工とフレア加工
- 研磨作業（ヤスリ、グラインダ使用）
- 穴あけ作業（ドリル使用）
- タップ・ダイスによるねじ切り作業

分野2：点検・分解・組立・調整及び完成検査

- エンジン関連：
 - バルブクリアランスの測定と調整
 - 点火プラグの点検と隙間調整
 - エンジンオイルの量と状態の点検
 - 冷却水の量と濃度の点検
 - ベルト類の張り具合の点検と調整
- シャシ関連：
 - ブレーキペダルの遊びと踏み込み量の測定
 - ブレーキ液の量と状態の点検
 - タイヤの空気圧測定と調整
 - タイヤの溝深さ測定
 - ステアリングホイールの遊びの測定
- 各部の分解・組立手順の理解
- 完成検査項目の確認

分野3：一般的な修理

- 簡単な故障の診断と修理方法の判断

- 部品の良否判定
- 交換部品の選定
- 修理後の機能確認
- 不具合箇所の特定

分野4：整備用試験機・計量器及び工具の取扱

- 測定工具の使用：
 - ノギスによる測定（外径、内径、深さ）
 - マイクロメータによる精密測定
 - シックネスゲージによる隙間測定
 - ダイアルゲージによる振れ測定
- 試験機器の使用：
 - コンプレッションゲージの使用方法
 - バキュームゲージの読み方
 - サーキットテスタの使用方法
- 工具の正しい使用：
 - トルクレンチの設定と使用
 - 各種レンチ・スパナの選択と使用
 - 専用工具（プーラ等）の使用

3.3 実技試験の評価ポイント

採点基準

1. 作業の正確性：測定値の精度、調整の正確さ
2. 作業手順：適切な手順での作業実施

3. 工具の選択と使用：適切な工具の選択と正しい使用方法
4. 安全作業：安全に配慮した作業姿勢と手順
5. 作業時間：制限時間内での作業完了
6. 整理整頓：工具の管理と作業場の整理

💡 実技試験対策のポイント

- 測定工具の使い方を繰り返し練習する
- 実際の車両や部品を使った実習経験を積む
- 作業手順を声に出して確認する習慣をつける
- 制限時間を意識した練習を行う
- 安全確認を徹底する

第4章：12週間学習スケジュール（学科対策）

12-Week Study Schedule for Written Examination

学習期間の目安

試験日（10月5日）から逆算して、**7月中旬～10月初旬**の約12週間で計画的に学習を進めます。

総学習時間目安：120～150時間（1日平均1.5～2時間）

4.1 学習フェーズの全体像

1 基礎固めフェーズ

第1週～第4週（7月中旬～8月中旬）

目標：基本的な自動車の構造と機能を理解する

学習内容：

- 自動車の基本構造の理解
- エンジン本体の構造と作動原理
- 各装置の基本的な機能
- 専門用語の習得

週あたり学習時間：**10～12時間**

2 応用力養成フェーズ

第5週～第8週（8月下旬～9月中旬）

目標：点検・整備方法と故障診断の知識を深める

学習内容：

- 各装置の詳細な構造と機能
- 点検・整備の具体的な方法
- 故障診断の手順
- 工具・測定器の使用方法
- 過去問演習開始

週あたり学習時間： **12～15時間**

3

実践力強化フェーズ

第9週～第12週（9月下旬～10月初旬）

目標：過去問演習と弱点克服で合格力を完成させる

学習内容：

- 過去問の徹底演習（最低5年分）
- 弱点分野の集中学習
- 模擬試験の実施
- 重要ポイントの総復習
- 試験直前の最終確認

週あたり学習時間： **15～18時間**

4.2 週別学習計画一覧表

週	期間	学習テーマ	目標時間
第1週	7/14～7/20	総論・エンジン本体の基礎	10時間
第2週	7/21～7/27	潤滑装置・冷却装置	10時間
第3週	7/28～8/3	燃料装置・吸排気装置	12時間

第4週	8/4 ~ 8/10	点火装置・電気装置基礎	12時間
第5週	8/11 ~ 8/17	シャシ (動力伝達・制動装置)	12時間
第6週	8/18 ~ 8/24	シャシ (かじ取り・走行装置)	12時間
第7週	8/25 ~ 8/31	点検・整備方法の実践	15時間
第8週	9/1 ~ 9/7	工具・測定器・過去問演習①	15時間
第9週	9/8 ~ 9/14	過去問演習②・弱点分析	15時間
第10週	9/15 ~ 9/21	過去問演習③・弱点克服	16時間
第11週	9/22 ~ 9/28	模擬試験・総復習	18時間
第12週	9/29 ~ 10/5	最終確認・試験直前対策	18時間

⚠ 学習を成功させるポイント

- 毎日の学習習慣：週末にまとめて学習するより、毎日1~2時間の学習を継続する
- 理解重視：暗記だけでなく、なぜそうなるのかを理解する
- 過去問重視：第8週以降は過去問演習を中心に学習する
- 弱点克服：間違えた問題は必ず復習し、理解するまで繰り返す
- 実物確認：可能な限り実際の車両や部品を見て確認する